



会報  
45

# おにぎり

路上の命にあなたの思いを

2024年6月28日

認定特定非営利活動法人  
ホームレス支援

福岡おにぎりの会

<http://www.onigirinokai.com>

[onigirinokai@gmail.com](mailto:onigirinokai@gmail.com)



理事長  
郡島 俊紀

遅々として進まない能登半島の復興。ゴールデンウィークに現地に足を運んだボランティアをテレビニュースで見ました。貴重な休みの時間を使って活動している人たちを感心して見ていると、「主人の趣味がボランティアですから」という女性がおられ、なにか落ち着いた居心地の悪い思いがしました。

理事長という役割も残すところ一年、おにぎりの会との関わりを振り返り、併せてボランティアについて考えてみたいと思います。

おにぎりの会の活動に関わり始めて20年、それ以前は一人の支援者として越冬期のカンパや雑煮大会に餅を差し上げたりしていました。福岡市内の野宿者の増加に加え、路上からは生活保護を申請させないという福岡市の不法行為があり、まず路上から入居する部屋を確保す

ることが必要になり、僧侶仲間で入居保証人を募り「保証人バンク」を設立しました。そうすると、誰か現場に関わる必要があるだろうということで私がその役割を担うことになり、活動に参加することになったのです。

野宿者支援に熱い思いや使命感があったわけでもなく夜回りを始めました。もちろんだからといっていい加減であったとは思いません。会の行事と寺の行事が重なったときは可能な限りお寺の行事を変更したり、夜回りにはほぼ全回可能な限り参加してきました。

その頃は様々な公園に野宿者のテント村があり多くの方に出会いました。思うに任せない人生を懸命に生き抜く人たちにさまざまなことを教えられました。出会ってしまったから、見てしまったから、知ってしまったから、突き動かされ





活動を続けています。

しかし、それでも自分の生活のすべてを賭けて支援活動をしているというわけではないという忸怩たるものがあります。東北の被災地で、復興が果たされるまでは住民票を移してまで活動している人たちがおられました。もちろん、状況が許せばだれでもがそのような選択をするわけではありませんので、その選は尊いものだと思いますが、それでもそのような活動ができる環境があったからできたということも現実です。ボランティアはできることを、できる場所で、できる人が、というお互い様の歩みなのでしょう。

コロナ禍の困窮者増加でマスコミに取り上げられ、それを見た懐かしい友人から「活躍しようね」と労いの連絡があったこともありました。褒められることはもちろん嬉しいのですが、一方で、そうではないとも感じていました。活動を物資やお金で支えてくださっている多くの方や裏方でおにぎりや豚汁を作ってくださっている方たち。そしてそれを配ってくださる方すべてが揃って成り立っている活動なのです。

東北の震災支援の現場でも同じように感じていました。全国から本願寺に集まる物資を小さな避難所に配り、仲間から託された支援金をお渡しする。その現場で感謝のことばを受け取るのは私であり、その後ろにおられる多くの方のことは見えているのだろうかと感じていました。

でもまた一方で、それを自分の手柄としてはいなかっただろうか、と不安になります。今の世の中、感謝や称賛の言葉を得ることは簡単ではありません。苦悩する人に寄り添うボランティアはたしかに良いことでしょう。しかし、それにより自己肯定感を手に入れようとするのは間

違っていていると思うのです。

ボランティア保険加入のため地元の社会福祉協議会に伺ったとき、被災地のお話をすると「引きこもりの子どもたちをそういう場所に連れていけば彼らも変わるのではないか」と言う方がおられました。もちろんなにかに出会い自分を変えられることはあるでしょう、しかしそれは変えるということを目指すことではないはずです。ある方が「自分を磨くために他者をみがき砂にしているのではないか」と教えてくださいました。

東北で共に活動した浄土真宗本願寺派総合研究所(当時)の金澤豊さんは「緊急支援が必要な被災地は、支援者が輝くための場所ではないという当たり前のことを知ろう」と呼びかけました。

『災害ユートピア』(亜紀書房)という書籍には、「災害の直後には被災した人たちの内に自然と連帯感が生まれ利他的になり、まず思いやりを示す」とあります。著者は、利他と慈善は行為そのものにさほど違いはなくても「利他は団結と同情による横に伝わるものであり、慈善は上から下へ手を差し伸べる」ことであり「慈善は相手を見下したり、恩に着せたり、持てる者と持たざる者の違いを強調することで、かえって相手をおとしめるリスクを常に伴う。物質的な援助をしながら、相手の自我を奪ってしまう。」と述べています。

善意で、良いこと、正しいことをしていると思うときにこそ、人は自分の姿に気づきません。

隣にいる人がつまづき、転びそうなときに手を差し出す。私が転んだときに、差し出された手に素直に礼を言う。あなたの喜びが私の喜びとなる。そんな社会であれば願います。

# 通常総会報告

2024年5月27日19時～  
美野島司牧センター 講堂

事務局長 飛永 薫

2024年5月27日、福岡おにぎりの会の総会を開催しました。例年同様、総会に先立ち2023年度期間中に亡くなられた方を「偲ぶ会」を執り行い、本年は三名の故人との思い出を語り合いました。

## 2023年度事業総括

基礎的支援事業については、炊出し夜回りを月2回(越冬期は例年通り毎週)行い、2022年度と同数程度の130～150名近くの方におにぎりや衣類、日用品などをお渡ししました。この炊出し夜回りは多くの方からの支援により活動しています。各企業や団体、NPOなどからも食品を含む様々な物品の提供を受けています。また、多くのボランティアの参加と協力により、大きな事故等なく無事に一年間活動を行うことができました。心より感謝申し上げます。

自立支援事業、相談支援事業については、相談



対応件数が昨年度の約1.5倍となりました。2023年度は事務局員を増員し、居宅訪問に力を入れたことで、居宅後の見守り対応が大きく増加しました。さらに、本年も路上からの自立を目指す方の宿泊支援も継続して行い、多くの方の居住支援を行いました。居住支援法人として福岡県に認可されたこともあり、相談の対象は路上生活者だけでなく、高齢者、障がい者、ひとり親世帯、刑余者など様々な方に広がっていきました。



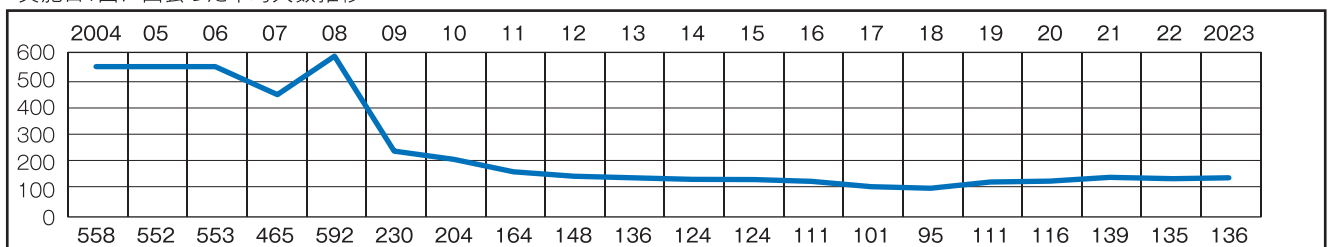
## 1. 基礎的支援事業

### (1) 炊き出し夜回り

・4月～11月(毎月第1,3金曜日※コースによって5週目金曜日実施) 12月～3月2週(毎週金曜日、スープの会と協働)、3月4週目

市内10か所 炊き出し参加者人数報告													ボランティア	
年間 31回	美野島	天神	中央公園	ベイサイド	中洲山王	大濠舞鶴	東	空港	西	博多	合計	夜回り	調理	
合計 人数	40 (14)	1066 (944)	614 (708)	218 (230)	1290 (1411)	373 (457)	397 (241)	6 (35)	103 (72)	108 (80)	92 (4192)	2119	354	

・実施日1回に出会った平均人数推移



※2021年1月頃より出会う対象者が約140名前後まで増加してきており、現在は横ばい傾向

## 2023年度事業報告

### (2) 季節イベント

- ・新緑のつどい : 2023年 5月20日 冷泉公園 牛丼、飲み物、お菓子など 115人
- ・秋まつり : 2023年 10月14日 冷泉公園 牛丼、ラーメン、飲み物、お菓子など 122人
- ・雑煮大会 : 2024年 1月13日 冷泉公園 お雑煮、飲み物、お菓子など 115人

### (3) 食材等提供団体（敬称略）

- ・不二精機(株) ・ 聖公会福岡パウロ教会 ・ 浄土真宗本願寺派光照寺 ・ 平尾バプテスト教会
- ・ 浄土真宗本願寺派明光寺 ・ フードバンク福岡 ・ 太宰府参道天山 ・ カトリック二日市教会
- ・ 富士食品(株) ・ チーム田中屋 ・ 大萩茗荷村 ・ グリーンコープ ・ 肉のマルトミ
- ・ 浄土真宗本願寺派光圓寺 ・ 浄土真宗本願寺派萬行寺

### (4) 物資提供

- ・ 毛布、寝袋、下着、衣類、石鹸、タオル、カイロ、アメニティ、薬（葛根湯、胃薬、湿布等）やマスク等を夜回り時に必要に応じて提供
- ・ 季節イベントや年末プレゼントとしてアメニティ、タオルや新品下着、肌着、靴下など提供

### (5) 特記事項

- ・ コロナ禍以降、炊き出し夜回りを月2回のペースで実施している。
- ・ 各寺院での供え物のお菓子や飲み物が届き、夜回りやイベントで配布

## 2・自立支援・相談支援事業

事業	相談内容	累計	2022年度
自立支援	生活保護・年金等相談 (生活保護に関する説明や相談、申請同行など)	148	145
	居宅相談 (住所や家に関する相談、不動産紹介、住所設定、家具什器支援など)	344	282
	健康相談・入院支援 (通院同行、病院との連絡調整、病気への助言など)	50	55
	路上生活相談 (食糧や衣類の支援、路上生活における相談全般)	152	156
	就労相談 (就労に関する相談全般)	6	25
	施設入所支援 (施設の説明、施設との連絡調整、入所送迎など)	19	72
	法律相談 (債務、滞納などに関する相談)	1	6
	人権相談 (追い出し、暴力に関する相談)	4	0
	宿泊支援 (宿泊支援時の体調確認、困りごとの確認)	320	201
	刑余者等相談 (司法機関や本人からの相談、人権保護対応など)	293	77
	その他 (路上生活をしている方の個別相談)	4	1
	自立支援合計	1341	1020
相談支援	生活保護・年金・社会保険等相談 (生活保護に関する相談、年金申請支援など)	142	125
	見守り支援 (訪問、聴き取り、電話等による関わりなど)	1145	487
	居宅相談 (保証人、緊急連絡先、家賃滞納等に関する相談)	229	163
	健康相談・入院支援 (通院同行、病院との連絡調整、病気への助言など)	272	228
	地域生活相談 (食糧支援、地域生活や施設生活における相談全般)	444	353
	就労相談 (就労に関する相談全般)	32	55
	法律相談 (債務、滞納などに関する相談)	57	32
	その他 (金銭管理や買い物支援等、地域生活者の個別相談対応)	81	122
	相談支援合計	2402	1565
	総合計	3743	2585



## 2023年度事業報告

## ＜自立支援・相談支援事業＞ ※（）内は昨年度実績

2023年度、おにぎりの会の居住支援を受けた方は125名(63名)、そのうち施設入所等が19名(20名)、居宅設定等で地域生活に戻った方が82名(33名)であった。居住支援法人として福岡県に2022年8月に認可されて以降、路上からの相談だけでなく、ネットカフェや会社寮にいる住所不定者や、生活困窮のために家を追い出されそうになっている方など、相談経路が多様化している。また、昨年度同様に宿泊支援(ネットカフェなどの安全な宿泊場所の確保)も継続的に実施、当事者の身体的、精神的な回復が見られた。

また、保護観察所や検察庁、警察等からの刑余者や住所不定者に関する相談や、障がいのある方や児童養護施設退所者、子育て世帯、高齢者など相談者の属性も様々であり、さらに、相談内容も医療、福祉、法律、就労など多岐に渡ってきており、より専門性が必要となる相談が増加した。そのため、関係機関と連携を取りながら安定した地域生活を送ることができるよう環境調整を行った。

居宅設定後の見守りについて、2023年度は相談対応の職員を増員したことで訪問対応を増加させた。これにより、おにぎりの会から居宅した方で遁走、逮捕拘留などの理由で退去した方について、本年度は5名と昨年度の8名より低下したものの、まだまだ地域生活に課題を持っている方がいることがわかった。

今後の課題として、本人が抱える生活上の困り事に関して、積極的に関わることとし、買い物支援や通院同行、関係機関への送迎などの個別対応を行っていくことが必要だと考えられる。

## (1) 居宅者訪問

- ・おにぎりの会を通して居宅した方の安否確認の訪問活動。

毎月第3土曜日、全12回実施 訪問件数：延べ170件 参加者：延べ65名

## (2) アカシアの会

- ・居宅された方の仲間づくりと憩いの場づくり。定例会は毎月第2木曜日に開催。全11回  
5月食事会、6月素麺食事会、7月食事会、8月素麺食事会、9月茶話会、10月光照寺で焼肉大会、  
11月食事会、12月食事会、1月食事会、2月餅つき会、3月食事会。参加者は延べ74名。

メンバーの高齢化が進み、  
参加者が年々減少しているため、  
居宅された方に声掛けし  
新規メンバーを募集している。



## 2023年度事業報告

### 3. 法人管理・運営

#### (1) 情報提供事業 <ホームページ・フェイスブック・LINE>

随時更新、情報発信を行った。ホームページへの炊き出し情報や路上脱出ガイドブックの掲載、携帯電話が停まってもおにぎりの会と直接連絡できるLINEなどを通じての相談の受付。

##### <発行物>

- ・おにぎりだより:炊き出し夜回り活動時に配布する野宿者向けチラシ。31回発行。
- ・機関誌「おにぎり」:43号(6月) 44号(11月)発行

#### (2) 対外活動・連携報告(敬称略)

- ・抱樸館福岡:施設入居相談支援、グリーンコープの炊き出し野菜寄附
  - ・巡回ふくおか:路上生活者の情報を共有
  - ・美野島めぐみの家:衣類や食品の共有、および情報共有
  - ・スープの会:カトリック大名町教会にて2月~3月2週目まで豚汁づくりを実施
  - ・福岡県ホームレス自立支援推進協議会:ホームレス自立支援計画の策定、各団体の活動報告
  - ・千鳥橋病院健康相談会:夜回り実施日第1週の健康相談会
  - ・福岡県警察:住所不定者の情報共有
  - ・福岡地方検察庁:不起訴処分となる方で住所不定者の情報共有、居住支援
  - ・福岡保護観察所:刑余者、更生保護施設入所者の情報共有、居住支援
  - ・カトリック大名町教会:炊き出し時の駐車場使用
  - ・フードバンク福岡:随時食品の提供
  - ・ホームレス支援全国ネットワーク:情報共有
  - ・福岡市社会福祉協議会:カイロ、食品の提供及び情報の共有
  - ・浄土真宗本願寺派光照寺:「覚え書き」を確認された方の遺骨の引き受け
  - ・福岡県、福岡市居住支援法人連絡協議会:居住支援に関わる関係機関とのネットワーク
  - ・福岡市若者支援団体ネットワーク:若者支援に関わる関係機関とのネットワーク
- その他、各企業や団体からの食品提供や物資の提供多数





## 2023年度決算報告

【事業毎】 &lt;2023年度 活動計算書&gt; (2023年4月1日から2024年3月31日まで) (単位：円)

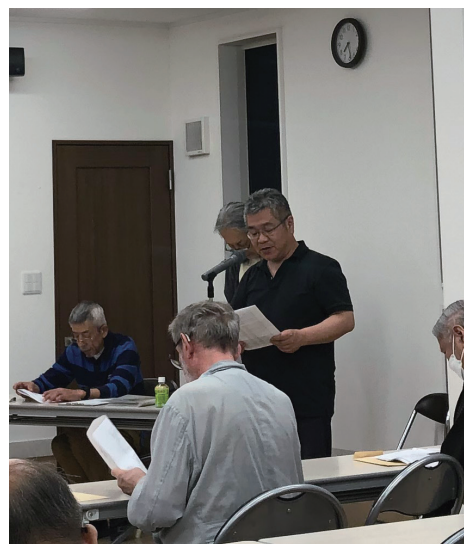
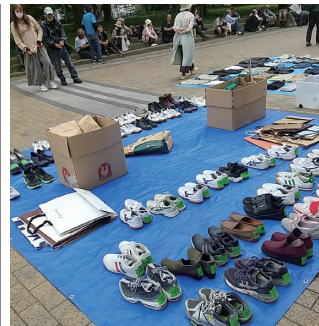
勘定科目	2023年度予算	2023年度実績	今期摘要
<b>I 経常収益の部</b>			
1. 正会員会費	1,200,000	1,170,000	入金：876,000 未収入金：294,000
2. 賛助会員会費	360,000	435,000	
3. 寄附金・カンパ	4,000,000	6,957,136	
4. 受取助成金等	0	0	
5. 補助金	4,000,000	4,593,876	居住支援法人活動支援事業補助金
6. 雑収益	0	0	
7. 受取利息		75	預金利息
経常収益の部合計	9,560,000	13,156,087	
<b>II 経常費用の部</b>			
<b>1. 事業費</b>			
事業人件費	4,200,000	4,587,263	法定福利費、交通費込み
基礎的支援事業費	1,600,000	1,799,016	
相談支援事業費	300,000	341,060	
人権保護事業費	15,000	9,799	
入院支援事業費	10,000	9,684	
自立支援事業費	600,000	710,669	宿泊支援込
情報提供事業費	600,000	591,700	
行政交渉事業費	10,000	7,800	
事業水光熱費	504,000	576,000	水光熱費のうち8割を計上
保険料	150,000	114,970	自動車保険料
減価償却費	350,000	289,666	自動車減価償却費
事業電話料金	90,000	109,448	電話料金のうち8割を計上
事業費合計	8,429,000	9,147,075	
<b>2. 管理費</b>			
管理人件費	640,000	613,034	法定福利費、交通費込み
退職給付費用	50,000	50,000	
管理水光熱費	216,000	144,000	水光熱費のうち2割を計上
事務・通信費	200,000	48,895	電話料金等
備品・消耗品費	200,000	301,773	収納棚、パーティション、他
旅費交通費	20,000	1,478	車両費込み
会議費・慶弔費	15,000	0	
諸会費	20,000	20,000	全国ネット、フードバンク
支払手数料	120,000	131,320	ゆうちょ受払手数料、銀行振り込み手数料
租税公課		1,200	収入印紙代
雑費		450	
管理費合計	1,481,000	1,312,150	
経常費用の部合計	9,910,000	10,459,225	事業費合計+管理費合計
経常収支差額	△ 350,000	2,696,862	経常収益合計-経常費用合計
<b>III. 経常外損益の部</b>			
雑損失	0	36,000	前年度正会員費未収入金
当期損益金額	△ 350,000	2,660,862	
前年度繰越金	10,285,899	10,285,899	
次期繰越活動資金	9,935,899	12,946,761	

# 2023年度決算報告および監査報告

<貸借対照表> (2024年3月31日現在)

(単位：円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1.流動資産の部</b>		
現金	289,983	
ゆうちょ銀行 受払口座	1,848	
普通預金 福岡銀行住吉支	12,263,328	
普通預金 西日本シティ銀	2,250,000	
普通預金 ゆうちょ銀行	323,698	
現金預金合計		15,128,857
未収入金	294,000	
貯蔵品	16,388	
他流動資産合計		310,388
<b>2.固定資産</b>		
車両運搬具	869,000	
減価償却累計額	△ 289,666	
固定資産合計		579,334
<b>3.投資その他の資産</b>		
長期前払費用（車両リサイクル預託金）	9,910	
投資その他の資産合計		9,910
<b>資産合計</b>		16,028,489
<b>II 負債の部</b>		
<b>1.流動負債</b>		
未払金（3月分給与・法定福利費）	529,335	
前受金（正会員費前受）	147,000	
預り金（所得税、社会保険料）	105,393	
流動負債合計		781,728
<b>2.固定負債</b>		
退職給付引当金		300,000
保証人バンク引当金		2,000,000
固定負債合計		2,300,000
<b>負債合計</b>		3,081,728
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		10,285,899
期間正味財産増加額		2,660,862
<b>正味財産合計</b>		12,946,761



## 会計監査報告書


2024年5月1日

特定非営利活動法人  
ホームレス支援福岡おにぎりの会  
理事長 郡島俊紀 様

私は、2023年度の特設非営利活動法人ホームレス支援福岡おにぎりの会の活動に関わる会計監査を2024年5月1日（水）美野島司牧センター内福岡おにぎりの会の事務所に於いて実施しました。

その結果、活動計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載及び関係する証憑類等と一致し、いずれも適正に処理されていたことを確認し、ここに報告いたします。

以上

監事 多田 玲一 



## 2024年度活動計画



昨年度はコロナの影響も落ち着き、以前と同様の活動ができるようになりました。ボランティアの募集、まつりでの会食、夜回りの通常化、あたり前のことがあたり前にできることがありがたいことでした。一方で夜回りで出会う方たちが、100名くらいであったコロナ前に比べ130名を超えるようになってきています。この増加は野宿者が増えたというよりも、生活困窮者が増えたことが大きく、女性や若者も目につきます。

相談もホームレス状態の人からだけでなく、家をなくしそうなので次の部屋の紹介を、というようなホームレス寸前の方からも増えています。

物価の上昇に加え、実質賃金の24ヶ月連続減少など、社会の情勢をみれば困窮する人が増えることは避けられそうにありません。路上からの相談に対応をして支援をすることが私達の活動の基本となりますが、生活困窮者に対する支援も喫緊の課題となっています。野宿を始めて間もない人たち

にとっては素早い対応が入居や生活の再建に繋がりがやすいということもあり、生活困窮者が路上に追われる前も含めて相談事業が重要になります。

そのため相談を受けるための体制を整えることが求められますが、職員の原山さんの退職ということもあり、萱島沙耶夏さんを新職員として採用します。

また、誰でも利用できる紙メディアでの情報は必須ですが、被支援者に限らずボランティアも含め当会のことを知る手立てとしてインターネットが利用されることが増えているようですので、ホームページやLINEなどによる情報の発信をよりわかりやすく充実させる必要があります。

もちろん当会だけで生活困窮者に対する支援を完結することはできません。私達が何をどれだけ担えるのかを検討すると共に、他団体に繋ぎ共働する必要があります。





# 善い歳なんだから ～共に受け入れ、共に担う喜びをありがとう～ 原山 映子

2年間のつなぎのつもりが6年間も！

3月、ボランティアの皆さまからの寄せ書きとおにぎりの会からの「善い歳なんだから」とあたたかいことばの感謝状を拝し、思いがけない感動の内にボランティアに戻りました。お支えくださった皆さま、ありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

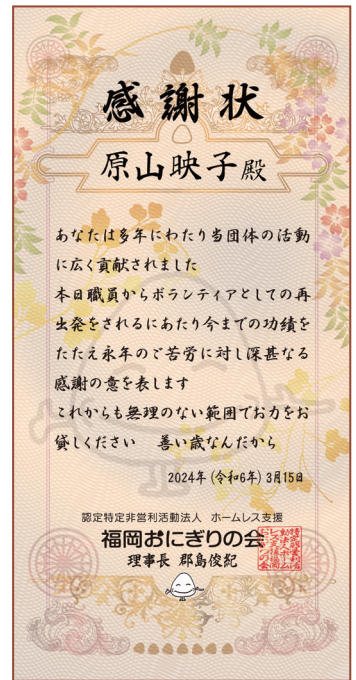
2018年入職当初は、2年間の内に「認定NPO法人」の取得を目標に、会計と寄付者名簿等の事務作業だけをコツコツとして次の方に譲るはずでしたが、コロナ禍が始まり、10万円の給付金は居宅のためのチャンスとばかり、昔取った杵柄ならぬ門前の小僧は、元の生活を取り戻す方のお手伝いに奔走することとなりました。見守ってくれていた友人は事務仕事や炊き出しを助けてくれて、今ではおにぎりの会なにはならないボランティアさんに生られておいでです。倉庫の整理は、当初、アカシアの会の方々や大森さん、三宅さんが助けてくださり、衣類を届ける準備ができました。市内10ヵ所の夜回りのボランティアリーダーさん達には、責任感のある働きに尊敬を覚えました。20年以上毎回、車で1時間以上かけて通っている方もいらっしゃいます。

寄付金や食品、物資を寄せてくださる方や、調理に通ってくださる方、夜回りをされるボランティアさん達とのあたたかい交わりや、出会った野宿の方や、生活困窮者からの「元気しとるね?」といただく声かけは宝物として心に刻ませていただきました。し

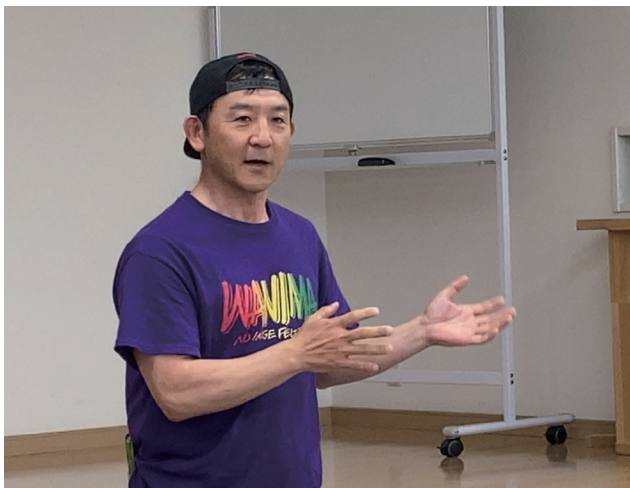
かし、事務局員としては、出来るだけと言いつつする日々をお詫びしなければなりません。

30年前、北九州の教会にあった野宿労働者のためのおにぎり作りのピラに誘われて始まったボランティアは3つの団体の職員を経て、多くの方の出会いと無念な死に向き合うことで、出来ないことを数えるより、許されてさせてもらえる喜びをいただきました。一方で、世の中の理不尽さも見えてきて、これからも弱くされた方々と共に生きることを肝に銘じて善い歳を重ねたいと思っております。

福岡おにぎりの会さん、こんな私です。死ぬまでボランティアをやらせて～ 感謝の内に。



## 夜回りを振り返って



### ベイサイドコースリーダー 國武 竜一

『今日は第〇金曜日、いつものホームレス支援の夜回りで、路上生活の方々に声かけして安否確認をし、ご相談をお受けする日です。』という書き出しで、夜回りの日の朝にSNSに写真と共に投稿し、参加協力を呼び掛けるのが私のルーティンになっています。

私とおにぎりの会との出会いは2004年。集合場所である美野島司牧センターは、当時古く薄汚れた感じの建物で、薄暗くなった夜にそこに行くと、“貧困”をイメージするような雰囲気がありました



が、そこに集い夜回りの準備をしている会員やボランティアの皆さんからは、今から“貧困”問題に向かっていくんだという強いエナジーを感じ、薄暗いながらも心地よかったことを思い出します。

リーマンショックにより派遣切りにあい、2008年から2009年の年またぎの時に年を越せない方のために、東京で年越し派遣村が開設されてから以降、公的に生活困窮者の支援をすべきと言う世論が高まり、福岡市の野宿生活の方も生活保護が受けやすくなりました。そのためか、私の担当コースベイサイド周辺は、当時40名程の野宿の方がおられました。現在は7名。

単に生活保護受給だけで減少したことでもないのですが、ベイサイド・マリンメッセ周辺の再開発により、追い出しと野宿禁止が強化されたこと、数

名の方がお亡くなりになったこともあってのこの実数。ただ、おにぎりの会として把握している全体的な実数も、2009年当時より大幅に減少しているので、公的支援が進んだものと解釈したいものです。

残っておられる7名は、生活保護を紹介しても「受けない」とは言われない方々。2004年当時からの付き合いの方もおられ、これまで訪問した回数から言うと、親戚や同級生と顔を合わせる機会よりも多く出会っているので、私のことを『仲良し』認定していただけていたら嬉しいな。

生活保護は受けないと断言されますが、それ以外のことで、わずかながらの支えや、心許せる相談相手になれる(なり続けられる)ように、これからも『ともに』(song by WANIMA)ありたいと願います。



## 夜回りに参加して

博多コースリーダー 田中 利幸

私は博多コースの夜回りに参加させていただいています。博多コースは博多駅構内や博多口・筑紫口付近を中心に巡回して、初めて見かけた方には間違っていたらどうしようと思いながら恐る恐る声を掛けながら、おにぎりやおにぎりだよりを手渡しています。

私は話をしたり傾聴したりすることがあまり得意ではなく、夜回りが終わった後に、「もう少し話ができたら良かったのに。」と、いつも後悔しているのですが、相手の方の側に寄りそうだけでも何かしらの役に立てているのではと言い聞かせながら活動をしています。

出会う方も様々な方がおられ、世の中の時事に



詳しい方やユーモアで毎回笑わせてくれる方など、世間一般で思われているようなイメージと全く違い、毎回学ばせていただいています。また、「野宿をしている方と私は何か違うのだろうか」と思うことも度々あります。お互いの状況は「たまたま」であって、家や仕事があることや、野宿をしていることも「たまたま」ではないかと思っています。

皆さんはなぜボランティア活動に参加しているのでしょうか？このことが気になり、初めて一緒に活

動する方に聞くことがあります。「家に居ても暇だから」などと謙遜されるかたもいらっしゃいます。たまに知人にボランティアの話をすると、「偉いですね」という言葉が返ってきます。私にとってボランティアに参加することは、「人助け」ということよりも「こんな私でも多少なりとも人の役に立っているんだ」という自分自身の存在意義を確認させてくれる場にもなっています。

他人の役に立って自分のためにもなる。  
これで良いと思っています。



いちどでも  
た だ い  
**炊き出しに行こう**  
いっちゃう？

**表**

なやんでいたら！  
こまっていたら！

認定特定非営利活動法人ホームレス支援  
**福岡おにぎりの会** <http://www.onigirinokai.com>  
onigirinokai@gmail.com

LINE facebook

### 「炊き出しに行こう」カードを作成しました

福岡おにぎりの会への相談の多くが食べることに困っているという内容です。  
●そこで、福岡市若者支援団体ネットワークとの活動のひとつとして、福岡市内の炊き出し案内などが表示されるQRコード、おにぎりの会の簡単な案内などが記載されたカードを作り、天神の商業ビルにカードを置いていただくことになりました。

●現在は、①ショッパーズのトイレの一部・②ソラリアステージのトイレの一部・③パルコの授乳室の一部です。

見かけたら、ぜひ手に取ってSNSなどで拡散してください。そして、街などで気になる方を見かけたら手渡していただくと助けになるかもしれません。

**裏**

**悩んでいませんか？**  
～ お金がなくてご飯が食べられない～  
～ 家賃を払えなくて家から出て行かないといけない～  
～ 会社をクビになったらホームレスになりそう～

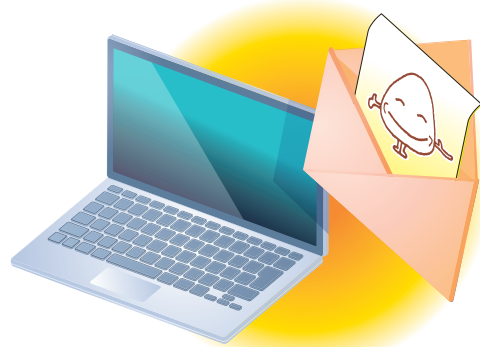
当会では、炊き出し・相談先の情報提供、生活保護の申請、家探しや施設入所のサポート、生活の立て直し等、いろいろなサポートを行っています。

QRコード

●相談受付 月・火・水・木・金 曜日 9:00～17:00 【いま、困っているあなたに】

事務所 〒812-0017 (美野島司牧センター内)  
福岡市博多区美野島 2-5-31  
電話 / 092-431-5785  
ファクス

LINE H.P facebook

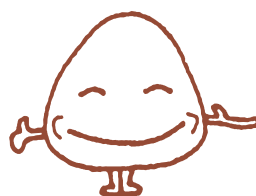


### メールでの情報配信を開始します

この度、ご要望にお応えし会報などのメール配信を行うこととなりました。ご希望の方は、下記のQRコードにご入力いただくか、

①氏名②住所③メールアドレス④電話番号⑤会報等への氏名記載の可否、をご記入いただき、  
事務局

(onigirinokai@gmail.com)までご連絡ください。  
郵送をご希望の方は、  
これまで通り対応いたします。



みなさまのご支援によって活動が続けられることを、心より感謝申し上げます。  
今後ともご支援ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

私たちの活動を会員になって お支えください

正会員	年会費	12000円	税額控除なし
賛助会員	一口	3000円	税額控除あり

郵便振替口座 01770-5-130212

福岡銀行 住吉支店 普通 1541480

LINE



H.P



facebook



認定特定非営利活動法人ホームレス支援  
**福岡おにぎりの会**

〒812-0017 福岡市博多区美野島 2-5-31  
(美野島司牧センター内)

電話/ファクス 092-431-5785  
(月・火・水・木・金 9:00~17:00)



# 会費・寄付者一覧

テレホンカード、お米、衣類、食品等のご寄付もいただきました。

みなさまのご支援によって活動が続けられることを、心より感謝申し上げます。  
名簿の不備な点はお詫びいたしますとともに、ご連絡くださいますようお願いいたします。  
今後ともご支援ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。(2023年4月1日～2024年5月31日まで)

カトリック福岡司教区、カトリック大名町教会、カトリック笹丘教会、カトリック笹丘教会 青年会、カトリック吉塚教会、カトリック高宮教会、Aqua703、カトリック西新教会、カトリック光丘教会、カトリック老司教会、8.15平和を建設する集い2023有志、NPO北九州あいの会 大石真純、相川和子、青木悟、相葉恵子、青木富美子、青木麻里子、青木勝成、浅野直人、麻生謙介、阿部省子、荒木絵理、荒木龍昇、有川信子、有馬泰治、アリヤル ビスヌデビ、糸川鮎、アルファ総合サービス株式会社 原仁美、粟田光彦、イーグル、飯野信子、五十嵐文子、池田政則、石上陽子、石丸のりこ、石村重哉、井尻美津子、板島博子、井土文雄、伊藤直之・順子、伊藤美絵子、伊東洋子、糸島聖書集会 木村公一、犬丸里利、井上仁史、井上裕子、井上芳正、今泉信生、今村フキ子、今村泰子、医療法人 社団三彦会 山田内科胃腸科クリニック、イワイジュウロウ、岩橋克能、遠山満、コース マルセル、岩橋徳子、岩本乾治、上杉賢、上田幸子、植竹スマ、牛島康子、宇治野みさ糸、梅木山光蓮寺、梅崎浩二、嬉野キリスト教会 藤野慶一郎、真崎昌文、江浦美恵子、江口博美、円徳寺 栗山敬真、大内絵美、大岡久美子、大神賢治、大川絹代、大島義太郎、太田富雄、太田ゆりこ、大塚恵里子、大坪哲也、大寺裕一郎、村上満里子、大野晴雄、岡口洋、大藪善次郎、大山和徳、緒方國弘、岡本明了、小田美鈴、尾辻佳郎、小野智実、柿山和徳、覺正寺 水上覚也、梶塚洋美、梶原のり子、片江キリスト教会、片岡真子、片峰建二、片山康成、門田聖子、金子芳恵、金田俊郎、狩野麗、加納洋子、梶島聖子、株式会社 マルジュン、株式会社AZOX 中島隆志、教円寺、株式会社KOBUSHI、株式会社TYS、株式会社アーラリンク、河口千鶴、河越智江、株式会社アジャスト 松本和昭、株式会社ダイショク 佐藤なるみ、株式会社モバテック、川崎千春、川添直美、川名正晃、河野新司、河野民子、河野文隆、河端則子、河村寛子、河本佳子、川本雄二、神田知香、木上勝征、木下勝代、木元久代、救護施設野の花、教法寺、玉栄寺、清原篤子、桐野治夫、工藤のゆり、工藤文彦、くにとともあきとし、黒田博子、慶伝寺、木戸勝也、慶伝寺 久保龍道、光園寺 圓日耕也、光厳寺、光行寺、光照寺、光照寺 仏教婦人会、更生保護法人 福岡県更生保護協会、合同会社MICHISIRUBEFUKU、合同会社サンクスシェア 田中聡、光蓮寺、古賀豊子、古賀ゆきひと、古賀涼子、吾郷健二、五島治、小島節子、児玉俊一、古長美知子、後藤秀規、後藤みか、小林駿、小宮豊・眞理子、齊藤香子、齋藤慶次、齋藤皓彦、齋藤まゆみ、坂井久男、坂田泰子、在日大韓基督教会 博多教会、佐世保教会女性会、定永晶子、在日大韓基督教会 福岡中央教会、善照寺 七里信路、西法寺 西村達也、西蓮寺、相模裕一、坂本敏子、坂本美代、笹尾暁、佐々木悠、笹栗久美子、清水満、定永尊子、佐藤きよみ、佐藤尊子、讃岐裕子、佐野幸仁、椎葉英一、柴田和子、柴戸和子、島内将吉、嶋田雅夫、志摩田善子、市民ネットワーク福岡、徐麻弥、下田廣子、社会福祉法人友愛会 城内シオン保育園、浄恩寺 柴田芳夫、正覚寺、浄弘寺 下川弘暎、浄土真宗 光円寺、浄土真宗本願寺派 託乗寺、信覚寺、城南こころのクリニック 藤丸靖明、浄福寺、浄満寺 井浦智眼、白石眞佐子、城崎正洋、真教寺、真光寺、信行寺 喜多村紀子、新福千博、末田陽子、菅美子、鈴木久子、周船寺第二幼稚園、周船寺幼稚園、住永謙一、住永実、正栄寺、西正寺 山内真隆、正善寺、西宗寺、杣淑眉、杣山眞乘、瀬戸まゆみ、瀬戸素子、西南学院中学校・高等学校、西法寺、西楽寺、西楽寺ローソク講、専照寺 進藤佳哉、善福寺 蒲池公隆、泉林寺 轡水俊英、だいち接骨院 上村大地、高杉志緒、高橋景子、高橋哲郎、高原信一、田上雅恵、高良政和、寶蓮寺 青木一乗、田川蘭子、田隈バプテスト教会、竹崎夢子、竹末龍也、武村奈緒子、田代由美子、多田玲一、田中滋孝、田中祥太郎、田中輝子、田中展子、田辺尚、谷口光子、谷原紘一、田上慶一、民谷裕子、筑豊協力伝道奉仕会、茶屋明郎、長一廣、長泉寺 松下知弘、鎮西学院高等学校、塚本あけみ、月川はる奈、筒井健二、椿信二、寺尾浩子、寺園喜基、傳照寺、天女山 西教寺、藤円寺、戸田真、東郷信愛幼稚園、飛永学、富永敦、豊倉輝久、豊永眞理子、鳥飼バプテスト教会、中川清昭、長崎外国語大学 宗教部、中里真一、永嶋真奈美、永田悦子、ナガシマ建築工房 長島哲夫、長住バプテスト教会、永田陽子、永利恭子、永沼桂、長野豊、中間草太、中前朝恵、永松齊子、中村英子、中村和男、中村利行、中村久美子、中村多美子、仲吉千代子、七里称羽、西村正弘、西村美津子、名和田法律事務所 名和田茂生、南郷寿、西岡裕芳・恵子、井上康市、井上郁子、西福岡のぞみキリスト教会、日本キリスト教会 福岡城南教会、日本基督教団 赤間教会、日本基督教団 飯塚教会、日本キリスト教団 大分教会、矢鋪愛、日本基督教団 香椎教会、日本キリスト教団 川内教会、日本基督教団 国分教会、日本基督教団 津屋崎教会、日本キリスト教団 津屋崎教会 女性の会、日本キリスト教団 東郷教会、日本キリスト教団 長崎銀屋町教会、日本基督教団 西福岡教会、日本キリスト教団 福岡警固教会、野添美智子、野田朱実、日本基督教団 福岡女学院教会、日本基督教団 福岡中部教会、野口幸子、野口春夫、日本基督教団 別府教会、日本基督教団 門司大里教会、野田智子、日本基督教団九州教区総会コーヒーコーナー、日本バプテスト連盟 福岡キリスト教会、日本福音ルーテル箱崎教会 女性の会 森洋子、野田小百合、にんじん食堂うずまさ 大道寺ちはる、野田廣、萩尾光代、箱田貴子、蓮尾エリ、はたもと商店 畠本佳一、初見かおり、花田弘子、濱崎由香、早川寛、ははこぐさの会 能登原裕子、バプテスト野方キリスト教会、林千保子、原恭子、原桂子、原志津子、原岡晴子、はるかぜ法律事務所 佐川民、春口和子、春山美智代、伴雅弘、半田郁子、半田隆、久志敏昭、ビッグイシュー基金、一口まゆみ、桧原こひつじ幼稚園、平石暁子、平尾バプテスト教会、平田幸長、平野千尋、比良松紀子、廣島尚、フィッシュ明子、深淵恵智代、深澤文香、福音館書店労働組合、福岡YWC A、福岡エクレール法律事務所 春田久美子、福岡おやじたい、福岡組仏教婦人会、福岡国際キリスト教会、福岡グリーンコープ自立労働組合、福岡市民クリスマス実行委員会、福岡城西キリスト教会、米湊直俊、福岡城東橋教会、福岡女学院看護大学宗教部、福岡女学院中学校・高等学校、福岡第一法律事務所 星野圭、福岡第一法律事務所 毛利倫、福岡大学工学部建築学科 高山研究室、福岡玉川教会、福岡友の会、福島あい子、福島久子、福田久美子、福田ゆみ子、福野友幸、福元英美、藤井千恵子、藤井文子、藤尾みどり、藤戸早苗、藤野晃俊、船岡ルミ、船木信宏、船越昭弘、古着かいあいグループ 原田あつこ、屏修一、本嶋美代子、ヘンミマサカズ、弁護士 春山九州男、弁護士法人奔流 池永修、法傳寺 松尾明宏、前田春男、前田真津子、前田吉恵、牧山幸二、正木頭、松尾林、益田和喜子、松井建子、松尾春菜、松尾充子、松尾和香子、松崎百合子、松原妙子、松本玲子、眞鍋牧子、丸尾圭祐、マルゲリータ テッス、萬行寺、万徳寺、見明郁子、三島千尋、水藤節子、溝田教子、三谷淑美、三田村礼子、光富正美、光森敬樹、南野森、宮崎清水町教会 女性会、宮原美代子、妙正寺 丸隈一心、妙泉寺 木村眞昭、妙楽寺、村田直子、村橋素行、明行寺 福山智昭、明福寺 鷺山智英、明樂寺 瓜生雅英、森東彦彦、森下隆之、メンタルクリニック百道浜 徳永仁伯、森脇朱美、八木一成、安永美保子、矢田章浩、矢田公美、八束浩一、柳川千吉、山内達、山岡章子、山口邦子、山口進、山口千春、山口祐二、山口幸宏、山崎久美子、山崎吉男、山下博美、山城順、山田治男、山田忠彦、山本晴太、山本裕子、山本由美、発将貴、弥生幼稚園、猷仁会 田島寛、由良美砂、吉田敦、横内邦子、横溝恭子、吉川隆介、吉田一久、吉田ユリア、吉田良子、吉田漂、吉松由美、吉村広幸、吉村敏幸法律事務所、米田博正、来光寺、李大美、立正佼成会 福岡教会、礼拝会 福岡修道院、和佐野健吾、渡邊一音・而去、湾月山 来光寺、遠藤玄之、河津優子、笠信暁、岩橋法律事務所 岩橋英世、久保山教善、兼崎暉、光隆寺 原由孝、光蓮寺 養原知英、耕月山 西福寺、斎藤陽子、重永侑紀、信行寺、西念寺、川瀬祥子、倉掛直樹、東郷優子、明蓮寺、崔正剛、小川千絵美、安武久美子、森田行平、佐藤直哉、前田春男、前田美絵、郡島俊紀、郡島洋子、郡島朋昭、郡島弘顕、山崎博之、國武竜一、田中利幸、中尾流一、坂東資朗、原山映子、里井雅代、原田啓子、有浦陽子、前田由樹、飛永薫、その他 匿名の方多数

※順不同敬称略